

平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章		<b>都立三鷹中等教育学校</b> 中等教育学校		中等教育学校														
		思いやり・人間愛(ヒューマニティ)を持った社会的リーダーの育成		入学選抜情報	募集人員		一般枠募集:男子80人、女子80人 特別枠募集:実施しない		応募倍率		28年度	男子	6.54	29年度	男子	6.13	30年度	男子
基本情報	所在地	〒181-0004 三鷹市新川六丁目21番21号	電話番号		0422-46-4181					女子	6.73			女子	6.08			女子
	アクセス	(1) 京王線「仙川」駅から、三鷹駅行、吉祥寺駅行バス約15分 (2) JR線「三鷹」駅・「吉祥寺」駅から、仙川駅行バス約20分 (3) 京王線「調布」駅から、杏林大学病院前行きバス約25分				前期課程		後期課程										
本情報	特色ある教育活動 (学校設定科目等)	① 本校独自の学習到達指標「三鷹スタンダード」に基づく学力伸長		生徒在籍数	479人(男子230人、女子249人)		468人(228人、240人)		主な学校行事		合唱祭、文化祭、体育祭、研修旅行 宿泊校外学習、英語学習発表会、校内留学		合唱祭、文化祭、体育祭、海外修学旅行 校外学習、勉強合宿、海外ボランティア研修		主な部活動		サッカー、バドミントン、ラグビー、野球、水泳、剣道、テニス、バスケットボール、バレーボール、陸上競技、音楽、吹奏楽、茶華道、演劇、美術、書道、弓道(後期課程)、チアダンス(後期課程)	
		② 総合的な学習の時間「人生設計学」における系統的・継続的キャリア教育			③ 伝統・文化の理解に基づく国際理解教育の推進とグローバルな視野の育成		制服		ブレザー、スラックス		制服		ブレザー、スラックス		ブレザー、スカーツ、スラックス		ブレザー、スラックス	
報	④ ICT機器を活用した幅広い教育活動		⑤ 「その他特に必要な教科」及び「学校設定科目」の設置		自律経営推進予算 30年度(単位:万円)	1,888	その他	東京グローバル10、ICTパイロット校、持続可能な社会づくりに向けた教育推進校、海外学校間交流推進校、伝統・文化教育推進校、スポーツ特別強化校		学校評価		国際理解教育の充実について全般的に評価が高く、東京グローバル10の取組などの成果が表れている。		ホームページ		<a href="http://www.mitakachuto-e.metro.tokyo.jp">http://www.mitakachuto-e.metro.tokyo.jp</a>		
	目指す学校		(1) 将来の日本を担う生徒を育てる学校 (2) 高い見識と幅広い視野を培う学校		(3) 思いやりの心をもった豊かな人間性を培う学校 (4) 中高一貫教育校として、6年間の体系的な教育課程を実践する学校													
今年度の重点目標				今年度の取組と自己評価														
目標①	6年間を見通した教育課程の編成と特色ある教育を推進する。 (1) 6年間の学習内容の組立を工夫し、指導内容の系統化を図る。 (2) ICT機器やアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、生徒の理解の浸透を図る。 (3) 本校独自の学力基準「三鷹スタンダード」に基づき、個に応じた学力の定着を図る。			(1) 新学習指導要領及び高大接続改革に伴う大学入学選抜に関する対応として、平成31年度から後期課程の授業の実施単位数を増加するため、教育課程を改善・再編成した。 (2) ICT機器を活用した真のアクティブ・ラーニングを取り入れた授業展開を研究し、ICTパイロット校研究発表会において、全ての教員が学習指導案を提案した。 (3) 前期課程の月曜補習、後期課程の放課後補習、前期課程及び第5学年の夏期講習、第6学年の長期休業日中の講習・補習、第4・5学年の勉強合宿などを通して、個に応じた学力の定着を促進した。														
目標②	将来の在り方・生き方を見据えた、系統的・継続的キャリア教育を行う。 キャリア教育全体計画に基づき、総合的な学習の時間「人生設計学」を中心に、将来、「社会のリーダーとしていかに社会に貢献していくのか」といった視点から幅広いキャリア教育を展開する。			総合的な学習の時間「人生設計学」と各教科や特別活動との指導を効果的に関連付けた、6年間の全体的・教科等横断的な学習指導計画を構築し、生徒が主体的に課題を発見・解決し、意見表明していくことができる学習指導・キャリア教育を展開した。														
目標③	国際理解教育を推進し、グローバルな視野の育成を図る。 (1) グローバル人材を育成するため、様々な国際交流活動を実施する。 (2) 国際社会におけるリーダーとなる人材を育成する。 (3) JETやALTを活用して英語の授業を充実させるなどして、語学力の向上を図る。			(1) 海外生徒を招いての交流、海外ボランティア研修、海外修学旅行、東京グローバル遠足など、年間を通して様々な国際交流活動に取り組んだ。 (2) 校内留学、海外ボランティア研修、各種留学事業、海外大学等進学講座などを系統的に指導するとともに、生徒にも明確に自覚させて取り組ませるなど、海外大学等進学希望者への校内支援強化策を充実させた。 (3) 前期課程及び第4学年の全ての授業において日本人教員とJETあるいはALTとのTTを実施したほか、全学年においてCAN-DOリストに基づいて英語の5技能をバランスよく育成した。														
数値目標	今年度の数値目標の内容				27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度			
	目標①	前期課程の月曜補習の実施週数			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標			
	目標②	国公立大学、難関私立大学(早・慶・上・理)を合わせた合格者数			80人	79人	90人	109人	110人	106人	110人	122人	110人	110人	110人			
	目標③	前期課程修了時点における英検準2級以上の取得率			60%	67%	60%	60%	65%	80%	80%	76%	80%	80%	80%			